

南の海の町



歌、オートハープ
矢口周美



コカリナ、ギター
黒坂黒太郎

熊野コンサート

なぜこんなに
ホッとできるのだろう？
いくつもの峠を越えてくるから？

なぜこんなに
「生きている」喜びを感じられるのだろう？
木々がモクモク、わきたつ夏雲、
生きているから？

なぜこんなに
体の関節がゆるやかになるのだろう？
海が抱いてくれるから？

黒坂黒太郎（くろさかくろたろう） 1949年生まれ、長野県上田市出身。民俗学者故宮本常一氏の激励を受け、全国各地を歩き、地球環境や生活をテーマにした歌を歌い続ける。コカリナ奏者として北京オリンピック公式文化祭やソルトレイクシティでの親善公演、ウイーンコンチェルトハウス、ウイーン楽友協会より招聘を受けるなど海外でも広く活躍。国内では、世界初のコカリナのCD「木の精の唄」（ポリグラムレコード）が好評を呼び、NHK「なぜ解き歳時記」のテーマ曲として使われる。また広島で被爆した木からコカリナを誕生させ2001年国際平和シンポジウムに招待され特別演奏、朝日新聞「天声人語」などにも広く紹介される。先日キングレコードより、新アルバム「ザ・コカリナ」をリリース。

2010年

9月19日(日)

13:30 開場 14:00 開演

【チケット】前売り 2500円 当日 2800円

矢口周美（やぐちかねみ） 和歌山県新宮市出身。現在、コカリナ奏者黒坂黒太郎のコンサートにボーカルとして参加。全国各地で年回100回のステージを踏んでいる。海外でも高い評価を受ける。昭和の教育家・建築家として名高い西村伊作を描いた映画「ISAKU」、TBS系テレビ「日本で一番美しい森」でテーマ曲を歌う。2004年「筑紫哲也NEWS23」に出演。2006年デビュー10周年ソロリサイトを和歌山県新宮市、東京で大成功させる。コカリナアンサンブル北京公演、ウイーン楽友協会コンサートなど国内外で広く活躍。2010年3月新潟県山古志村の子ども達と創った歌「ありがとう」がキングレコードよりCD化、他アルバム多数リリース。

会場 紀南ツアーデザインセンター

〒519-4323 三重県熊野市木本町 517-1
問い合わせ・電話 0597-85-2001
メールアドレス kinan-tdc@nifty.com
ホームページ <http://homepage3.nifty.com/kinan-tdc/>

